

講義名	基礎技能B（総合）			授業形態	
担当教員	富岡 敦基	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

【目的】
基礎技能Bは、公務員を目指す学生を対象とする「公務員試験対策プログラム」に位置づけられる公務員試験対策科目である。プログラム生は「基礎技能B（総合）」も必ず履修すること。
3年生対象の基礎技能B（総合）は、1年生後期から2年生後期まで基礎技能で学んだ教養試験対策の分野の復習を促し、1年後に待つ公務員採用試験までの期間を認識し、計画的に勉強する姿勢の再構築と教養試験の必要性と重要性を自覚することを目的とする。
授業内では初回と比較して最終回での理解度ならびに平均点を20%アップすることを目標とする。
なお、公務員採用試験合格には、当該授業を履修するだけでなく、自学自習が前提であることは言うまでもない。

【内容】
基礎技能B（総合）では、公務員採用試験分野で最も対策が必要な「数的推理」「判断推理」「資料解釈」を復習し、エントリーシートの書き方や面接の心構え、論文、2次試験対策のポイントを学ぶ。小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。

【意義】
講師との対話を通じて進められる本授業の意義は、受講生が、本学がディプロマポリシーで掲げる「論理的思考力」「情報収集力」「情報分析力」を着実に身につけることができることにある。また、公務員という明確の目標に向けて、コツコツと宿題をこなしていくことによって、「ネアカのびのび」へこれたず、の精神を養うことができることにも大きな意義があろう。

到達目標

- ・公務員採用試験に向けて教養科目の核となる『数的推理』『判断推理』『資料解釈』を解くことができるようになる。
 - ・近年重要視されている2次試験の内容を知り、自身の志望動機や面接に向けての基礎知識を習得することができるようになる。
 - ・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。
- なお、以上の目標に到達するため、本授業は講師と受講生のコミュニケーションを重視する。

提出課題

- ・毎授業時に宿題（練習問題）を出す。
- ・公務員試験勉強には日ごろの自習が求められる。宿題を通じて、自分のペースに合わせた学習習慣を身につけてもらいたい。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業後に宿題を渡し、登壇の授業時に必ず提出すること。
（提出理由がない場合）、提出期限を過ぎても提出は認めない。
また、欠席等で宿題の受け取りが出来なかった場合は、授業運営をサポートしてきている資格サポートコーナーに受け取りに行き、提出すること。
第3回、6回、9回、12回、15回に実施する小テストに関しては各個人の点数、クラスの平均点をお知らせする。

評価の基準

小テスト（5問×5問＝25問）【50％】と受講態度（宿題の提出【15回】を含む）【50％】の割合で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。
受講態度が悪い場合には、減点する。
また、宿題も必ず提出すること。特別な事情を除き提出がない場合には、減点する。
また、最初の授業時に学習する科目のテストを行い、その時点でどれくらい問題が解けるかや苦手範囲を確認し、15回の授業を通して解けるようになる。さらに、志望する職種・自治体について事前に調べ、エントリーシートに必要な項目も早めの段階から書く準備をしておくこと

教科書

.数的処理 警察官・消防官・市役所クラス対応。	ワークアカデミー	ワークアカデミー	1980		

参考図書

.なし。					

その他

必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画

1. 公務員ガイダンス・数的推理
 - ・ 予習内容（120分）
 - 公務員試験の全体像や試験科目、出題傾向についての基本的な理解を深める。
 - 数的推理の問題形式（数の推測、数詞、図形の問題など）を確認。
 - 基本的な数的推理の問題に取り組み。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 出題パターンに慣れるために、過去問や模擬問題を解く。
 - 解法の手順をまとめ、間違えた問題の復習を行う。

2. 数的推理
 - ・ 予習内容（120分）
 - 数的推理のバターンをさらに深掘り（数の推理、倍数、余り、約数、素数など）。
 - 複雑な数的推理問題を解くための複習力をつける。
 - 解法の手順を整理し、スムーズに解答できるように練習。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 難易度の高い数的推理の問題に取り組み、解法を実践。
 - 時間を測りながら問題を解くことで、スピード感を養う。
 - 過去問を使い、解答の精度とスピードを上げる。

3. 数的推理
 - ・ 予習内容（120分）
 - 数的推理の問題でよく出るテクニック（順列・組み合わせ、確率、図形の問題など）を学ぶ。
 - 問題を解く際の注意点や解法のアプローチを再確認。
 - 基本問題から少し難易度の高い問題にチャレンジ。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 既に解いた問題の解法を見直し、効率的な解法を探る。
 - 出題傾向に応じた問題を解き、自己評価を行う。

4. エントリーシートの書き方
 - ・ 予習内容（120分）
 - エントリーシートの重要性とその役割について理解する。
 - 自己PRや志望動機、過去の経験をどう表現するかの基本を学ぶ。
 - エントリーシートに必要な項目や記入方法を復習し、例文を見て参考にする。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 実際のエントリーシートを書いてみる。
 - 自分の経験や強みを明確に表現できるように練習。
 - 書いたものを講師に見てもらい、フィードバックを受ける。

5. 数的推理
 - ・ 予習内容（120分）
 - 数的推理の基礎的な問題の解法をさらに進めていく。
 - より複雑な数的推理の問題（速さや比、平均など）を集約的に学ぶ。
 - 解答に必要な式を立てる力を養う。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 応用問題を中心に解き、より難しい問題にも挑戦。
 - 時間を測って、解答スピードを向上させる。
 - 自己チェックをしながら進め、間違えた箇所を確認する。

6. 数的推理
 - ・ 予習内容（120分）
 - 数的推理の総復習を行い、各種問題の幅広く解く。
 - 特に、パターンを見抜く力や解法のアプローチを重視する。
 - 過去問や模擬試験を活用して、実践力を養う。
 - ・ 復習内容（120分）
 - 難易度の高い問題や苦手な問題に取り組み。
 - 解法の効率化を図り、解答時間を短縮できるように練習。
 - 過去問を解き、試験の実戦形式に慣れる。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業の目標は、本学のディプロマポリシー（5項目）と以下の点で関連する。
・公務員試験で出題される社会科学の基礎知識を「正確」に理解し、それらが現実の政治・経済の仕組みの土台になっていることを理解することができるようになる。
・知識を効果的に転換することができる。論理的思考力を持った人材の育成。
・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。
「自主・自立の精神を持った人材」の育成

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

理解度確認表・キャンパスクロスを活用し、不明点や確認事項を学生と講師間で共有する。

実務経験の有無及び活用

備考